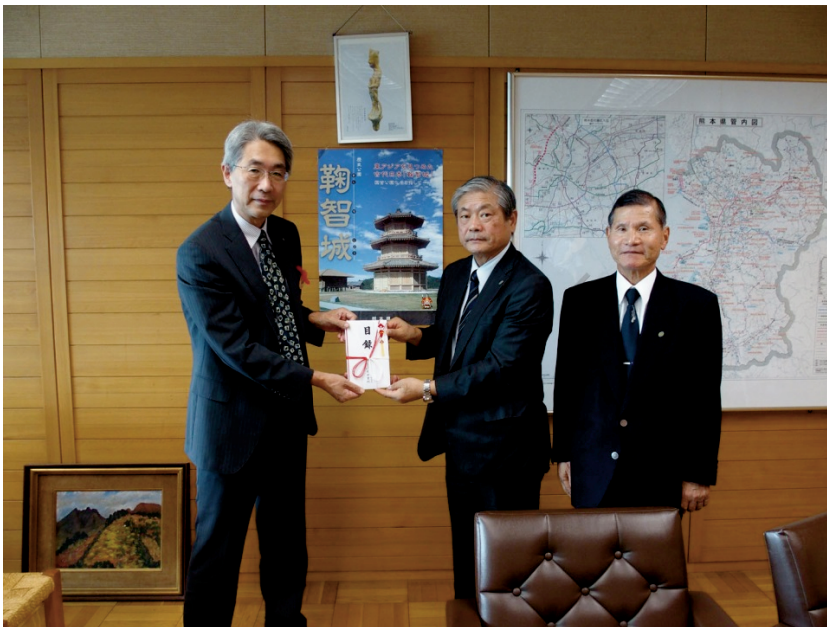


## 熊本県への“F-Deck”の寄贈について

当社と首都高速道路株式会社とで共同開発しました、災害時の緊急車両の通行を確保する FRP 製渡し板【F-Deck】は、地震による被害で橋梁伸縮部等に段差や開きが発生した場合、緊急車両等の通行を確保する【道路啓開】に寄与する製品です。

この度、熊本地震により被災した熊本県に2セット寄贈させて頂き、阿蘇と上益城の地域振興局に各1セットが配備されることとなりました。

10月11日に熊本県土木部手島建司部長に目録をお渡し致しました。



左から手島部長、弊社常務西垣、顧問田中



F-Deck 使用例

# 緊急時の通行確保へ

## 宮地エンジニアリング

橋梁・鉄骨大手の宮地エンジニアリング（本社東京）は、自社で開発した軽くて強い渡し板「FR Deck（エフデッキ）」を熊本県に寄贈した。11日、西垣登常務取締役と田中輝顧問が県庁を訪れ、手島健司土木部長に目録を手渡した。

熊本地震では、2度の大きな揺れで多くの橋梁に段差が生じ、車両等が通行できない状況



左から手島部長、西垣常務、田中顧問

に陥った。エフデッキは、縦140センチ、横70センチ、厚さ9センチのFRP製渡しし板（1セット4台）。旧工事などに役立ててもらいたい」と挨拶。手島部長は「道路や河川など活用できる場所

## FRP製渡しし板を寄贈

部に段差や開きが発生した場合、人力で速やかに設置でき、緊急車両等の通行を確保することが可能となる。

贈呈式で、西垣常務は「軽各1セットが配備される。阿蘇と上益城の地域振興局に

を精査し、試行してみたい」と話し、申し出に感謝した。寄贈されたエフデッキは、